

事務事業	3016	糟屋郡自治会館組合参画事業	担当課	総務課	担当係	総務法制係
------	------	---------------	-----	-----	-----	-------

計画 後 期 体 計 系 画	施策	19	将来にわたって持続可能なまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	550	効率的・効果的な行政運営を行う		款	2	総務費
					項	3	企画費
					目	1	企画総務費

法令根拠条例等		個別計画
---------	--	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	S37 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 糟屋地区(1市7町)で組織された組合の組合保有財産の維持・管理・運営費用を 構成市町の負担金により運営していく参画事業である。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
	主 な 事 業 費 の 内 訳	糟屋郡自治会館組合負担金
		2,292 千円
		千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 負担金支払事務		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 29年度に行った主な活動(*箇条書きで記入) 組合負担金の納入	事務 事業 の 目 的
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 構成市町、糟屋郡自治会館	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) ・共同で行うことにより効率的な事務処理ができる。 ・自治会館の健全な運営が行われる。 ・市町間の連絡調整が行える。	

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 負担金額	千円	2,294	2,292	4,114 (見込)	
イ 支払回数	回	1	1	1 (見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 構成市町数	市町	8	8	8 (見込)	
イ 糟屋郡自治会館数	館	1	1	1 (見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 自治会館で組織されている団体数	団体	目標	17	17	17
		実績	17	17	
イ 年間会議数(町長・副町長・総務課長)	回	目標	30	30	42
		実績	25	43	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	2,294	2,292	2,292	4,114			
		合計(A)	2,294	2,292	2,292	4,114	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)	234	226	197	714				
トータルコスト(A)+(B)	2,528	2,518	2,489	4,828	0	0			

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
昭和37年、糟屋郡自治会館組合規約に基づき、事業を開始。糟屋地区(1市7町)で組合を設立し、組合保有財産の維持及び管理並びに運営に関する事務を共同で処理する会館(糟屋自治会館)の管理・運営費用を組合組織市町の分担金により運営を行う。	なし	なし

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	糟屋地区内の市町間の連絡調整を行うことで、効果的な行政運営を行うという施策の目的に合致している。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	将来の広域連携を見据えての糟屋地区の共同事業であるため、その推進を図るうえでは妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	糟屋地区内の市町間の連絡調整は十分に行えており、これ以上の成果向上余地はない。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	糟屋地区内の市町間の連絡調整が行えなくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	支出する負担金の額は、組合議会の議決で決定する。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

糟屋郡自治会館組合の議会で決められた負担金を、組合からの請求により支出を行った。

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	